

## 手術室・中央材料室

### 手術室・中央材料室の特徴

外科、整形外科、産婦人科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、小児科の手術を行っています。2024 度の手術件数は 2176 件で、年間手術件数のうち 376 件が緊急手術です。そのうち緊急帝王切開術が約 5 割を占めています。手術を受ける患者さんの年齢は、新生児期の赤ちゃんから 100 歳を超える方まで様々です。

手術室は 5 室あり、緊急手術の対応がいつでもできるように 24 時間体制を整えています。総合周産期母子医療センターとして、緊急帝王切開術に対応できるように院内全体での「超緊急帝王切開シミュレーション」等を行っています。

患者さんが安心して安全に手術が受けられるように、各診療科の医師、看護師、臨床工学技士、放射線技師、薬剤師等、多職種で連携を図っています。

麻酔科術前外来での手術前診察を行っています。手術前から患者さんとの関わりを持つ事で、疾患や手術・麻酔に対する思いや不安を確認し、安心して手術に臨むことが出来るように関わっています。

術中麻酔管理領域の特定行為研修修了者が 1 名配置されています。麻酔科医師の指示の下、手順書による特定行為の実践を行っています。

中央材料室では洗浄機や滅菌装置を備え、新生児集中治療の呼吸器回路等の物品や哺乳瓶、病棟・外来の器材や、手術器械の洗浄滅菌を行っています。



手術室です

「超緊急帝王切開シミュレーション」  
の様子です

